

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年01月14日

計画の名称	1 体系的な道路ネットワーク形成を図る道路整備計画												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	横浜市												
計画の目標	市民生活と経済活動を支える「快適で便利な交通網」の実現を目指し、都市の骨格となる体系的な道路ネットワークを形成します。 地震時でも道路の機能を維持し続けるため、緊急輸送路等の整備・緊急輸送路等の地震対策を推進します。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	44,586	A	44,472	B	0	C	114	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.25	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	都市の骨格となる都市計画道路の整備率を67.3%(H26)から68.8%(H30)にする。 都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合	67%	68%	69%
2	緊急輸送路整備促進路線の整備率を21%(H26当初)から73%(H30末)にする。 横浜市地震防災戦略において、緊急輸送路整備促進路線(早期に効果が発現する緊急輸送路)に位置付け重点的に整備を実施する道路の整備率	21%	30%	73%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	国道	改築	一般国道1号(不動坂工区)	現道拡幅 1.1km	横浜市						195	-	
	A01-002	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	国道	改築	一般国道1号(保土ヶ谷橋工区)	現道拡幅 0.8km	横浜市						535	-	
	A01-003	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	都道府県道	改築	(一)川崎町田(恩田地区)	バイパス整備 1.2km	横浜市						381	-	
	A01-004	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	都道府県道	改築	(一)川崎町田(田奈地区)	現道拡幅 0.7km	横浜市						5	-	
A01-005	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	(市)五貫目第33号線	現道拡幅 0.5km	横浜市						826	-		
A01-006	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	保土ヶ谷二俣川線	バイパス 0.4km	横浜市						453	-		
A01-007	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	(市)北八朔北部第379号線	バイパス整備	横浜市						157	-		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-008	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	横浜藤沢線	バイパス 3.0km	横浜市						4,460	-		
	A01-009	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	羽沢池辺線	バイパス 3.2km	横浜市						19,220	-		
	A01-010	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	山下長津田線	バイパス 2.9km	横浜市						4,834	-		
	A01-011	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	川崎町田線	現道拡幅 2.1km	横浜市						294	-		
	A01-012	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	桜木東戸塚線	バイパス 1.0km	横浜市						1,732	-		
	A01-013	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	港北ニュータウン関連街路 ほか1	現道拡幅 0.6km	横浜市						12	-		
	A01-014	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	上永谷線	バイパス 1.0km	横浜市						505	-		
	A01-015	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	横浜上麻生線	駅前広場 0.27ha	横浜市						773	-		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-016	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	中田さちが丘線	バイパス 1.1km	横浜市						379	-		
	A01-017	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	下永谷大船線	バイパス 1.2km	横浜市						33	-		
	A01-018	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	丸子中山茅ヶ崎線	現道拡幅 1.9km	横浜市						20	-		
	A01-019	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	(市)上瀬谷第368号線 ほか1(瀬谷団地連絡道路)	現道拡幅 320m	横浜市						220	-		
	A01-020	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	環状4号線(上瀬谷通信施設地区)	バイパス 0.5km	横浜市						380	-		
	A01-021	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	(市)和泉町第449号線(赤坂橋)	橋梁整備	横浜市						126	-		
	A01-022	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	環状3号線	バイパス 2.0km	横浜市						17	-		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-023	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	権太坂和泉線	バイパス 4.1km	横浜市						2,069	-	
	A01-024	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	宮内新横浜線 ほか1	バイパス 2.6km	横浜市						1,058	-	
	A01-025	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	桂町戸塚遠藤線	バイパス 1.0km	横浜市						1,825	-	
	A01-026	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	環状4号線(公田桂町地区)	現道拡幅 1.2km	横浜市						30	-	
	A01-027	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	中山北山田線	バイパス 1.2km	横浜市						58	-	
	A01-028	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	都道府県道	改築	(主)原宿六ツ浦(笠間交差点)	交差点改良	横浜市						220	-	
A01-029	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	横浜逗子線	バイパス 1.4km	横浜市						371	-		
A01-030	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	(市)環状3号線(日野南山台地区)	道路改築 1.2km	横浜市						720	-		

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-031	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	長津田駅南口線	現道拡幅 0.1km	横浜市						2,474	-	
	A01-032	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村道	改築	(市)川井第44号線	橋梁整備	横浜市						90	-	
											小計						44,472		
											合計						44,472		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	計画・調査	一般	横浜市	直接	横浜市	-	計画調査	社会資本総合整備計画事後評価	効果測定、効果の検証	横浜市						30	-		
		当計画の効率的・効果的な展開を図ることを目的として、個別事業の評価及びパッケージ全体の評価を行うための交通量、旅行速度等の実態調査、効果検証を行う。																		
	C01-002	公共交通	一般	横浜市	直接	横浜市	-	計画調査	地域交通サポート事業	利用実態調査、運行計画策定	横浜市						21	-		
		既存バス路線がない地域などで、地域が主体となった小型バス運行などの交通手段導入のための運行計画策定などの支援を行い、本格運行を目指すことにより、交通便利性の向上、交通円滑化を図る。																		
	C01-003	計画・調査	一般	横浜市	直接	横浜市	-	計画調査	地域道路網整備計画	交通量調査等	横浜市						13	-		
	都市計画道路網の見直しに伴い、地域課題の解決のための基礎調査（交通量調査等）を行い、1-A-1～1-A-35の整備に合わせて、地域特性にあった地域道路網の整備計画を策定する。																			
C01-004	計画・調査	一般	横浜市	直接	横浜市	-	計画調査	道路の新たな事業展開に関する調査業務	事業展開検討	横浜市						10	-			
	道路空間を活用した事業についての検討やその有効性について調査し、1-A-1～1-A-35と一体となって、民間商業施設等との連携や地産地消の推進など、地域経済の発展に貢献する。																			
C01-005	計画・調査	一般	横浜市	直接	横浜市	-	計画調査	主要渋滞箇所要因分析・対策検討	渋滞状況等の整理	横浜市						40	-			
	1-A-1～1-A-35の整備状況を踏まえ、渋滞ボトルネック対策協議会で示された渋滞箇所の分析・対策案の策定と、整備後の効果検証をおこない、効率的・効果的な渋滞対策を推進する。																			
											小計					114				
											合計					114				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を行いました。	令和2年度
	公表の方法 横浜市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	環状4号線、川崎町田線、桜木東戸塚線等の一部区間において事業が完了した。特に権太坂和泉線（和泉地区）の開通により周辺道路で最大300mあった渋滞長が解消されたほか、生活道路（市道上飯田第92号線）を利用していた車両が、事業の前後で約30%減少し、地域の環境改善に寄与した。また、地震時等の災害時における物資の輸送機能の確保や救急救命活動を円滑に行うための緊急輸送路ネットワークが強化された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	効果促進事業として、交通課題箇所の要因分析や交通量調査等を実施し、効率的・効果的な渋滞対策を推進した。
特記事項（今後の方針等）	
<p>【学識経験者意見】 事業費が限られた中でもいくつかの路線では事業が完了し、事業効果が挙げられたことを評価したい。完成目標から遅れている路線については、早期完成に向けて引き続き取り組んで欲しい。 計画の事後評価に限らず、道路整備が完了した際には、その事業効果を市民に向けて積極的に提供していくことが望ましい。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	69%
	最終実績値	69%
一部で整備が進んだ路線があるが、必要額に対し十分な予算措置を行うことができなかったため。 整備率68.5%（H30）		
2	最終目標値	73%
	最終実績値	45%
必要額に対し、十分な予算措置を行うことができなかったため。		